

# 荻野川周辺地区

(神奈川県 厚木市)

- 計 画 期 間 平成 20 年度～平成 24 年度
- 面 積 626ha
- 交付対象事業費 1,040 百万円
- 市人口 225,345 人 (地区内人口 42,300 人)

**ポイント** 市民の声をかたちに！  
～みんなと取り組み続ける川のあるまちづくり～

**地区概要** 荻野川の豊かな地域資源を活かし、河川堤防の散策路、親水公園及び地域交流センターなどの整備を市民参加で計画し、自然環境を通じたコミュニティづくりを目指します。

**目 標** 自然共生による水やみどりを生かしたまちづくり

**指 標** 荻野川周辺の散策路や親水公園の整備効果を計る指標として歩行者数を、本地区のまちづくりに対する市民満足度を総合的な判断指標として設定する。

荻野川堤防道路歩行者数	141 人/日 (19 年)	→	155 人/日 (24 年)
生活環境に対する満足度	22% (19 年)	→	24% (25 年)

**事業内容** 基幹事業 (1,010 百万円) → 道路 (4 路線)、公園 (1 箇所 1ha)、地域交流センター (1 箇所 1,671 m<sup>2</sup>)  
提案事業 (30 百万円) → 地域創造支援事業 (地域交流センター内 市民サービスコーナー1 箇所 91 m<sup>2</sup>)

Map showing project locations with callout boxes:

- 基幹事業 道路事業 市道本郷柄沢線
- 基幹事業 道路事業 みはる野入口交差点
- 基幹事業 道路事業 市道荻尾幹線(LED街路灯)
- 基幹事業 道路事業 市道I-326・D-2号線外 (健康・交流のみち)
- 関連事業 東谷川多自然づくり事業
- 基幹事業 高次都市施設 地域交流センター 荻野公民館
- 提案事業 地域創造支援事業 市民サービスコーナー整備事業
- 基幹事業 公園事業 (仮称) 広町公園

**凡例**

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

## 地区の現況と課題

荻野地区は、丹沢山ろくの樹林地及び荻野川等の河川に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれています。荻野川周辺には、既存市街地のほかに計画的に整備された大規模住宅地がこの地域に配置されています。

荻野川をはじめとする豊かな自然を有する一方で、それらを身近に親しめる環境が整っておらず、既存資源を活かしきれていない現状がありました。

また、大規模団地開発により住民が増加したことから、地域のコミュニティ活動の拠点が求められていました。

## 提案事業の特徴

### 市民サービスコーナー整備事業

地域市民の相互交流の促進を目的に、自治組織や市民活動団体等との連絡調整や活動支援を行うサービスコーナーを荻野公民館に併設

## 計画策定プロセス

### 広町公園計画への市民参加

地域住民の方と構想から公園整備後の管理に関する役割分担に至るまで話し合いを進め、詳細なプランを練り上げました。また、地域植物の研究を行う団体や野鳥を研究する団体など専門知識を有する方々の協力を得て、在来種で希少植物の「ミクリ」や公園改修前から飛来している「カワセミ」「ヤマセミ」といった野鳥を保護するための公園植栽プランを策定しました。

### 健康・交流のみち計画への市民参加

計画策定から、関係する行政機関、学識経験者及び市民団体の代表者などで組織する検討委員会で実行性の高い計画作りを目指しました。また、季節の花を植える団体に参加をいただき、堤防沿いの草花を楽しめるような整備方法を市と一緒に考え、実現させました。(右上写真)

## 小林 常良 厚木市長のコメント

市民参加で作り上げた荻野川周辺地区都市再生整備計画は、整備後のソフト面での取組みを十分に意識して、それぞれの事業が、相乗効果によって効果がさらに高まるよう工夫を行いました。地域課題に取り組む市民の皆様のたゆまぬ努力の結果、整備が完了した広町公園では、改修前に比べて利用者数が10倍以上に、建替え後の荻野公民館では、利用者が1万7千人以上増加するなど、整備効果が発揮されつつあります。人と人との絆や豊かな自然を大切に思う市民の皆様の熱心な取組みが、このような栄えある賞につながったものと思います。今後も、本地域の市民の皆様とともに協働によるまちづくりを推進してまいります。

## 毛利 和夫 荻野公民館長のコメント

荻野地区は、厚木市内のうち3番目に人口が多い地区です。

ホテルが生息し、カワセミの生息が確認されるなど、清流荻野川が中央を流れ、その沿川に大規模住宅団地をはじめとする多くの方々が生活しております。地区の資源を最大限に活用し、憩い・集い・やすらぎ・学ぶ場として、公民館と広町公園を“適材適所”に配置したことは、地域の意見を行政にダイレクトに提案した結果だと自負しております。

地域の方々が川のほとりを歩き健康づくりに励み、広町公園で野鳥とふれあい、公民館で動植物の生態を学ぶといった、自然と都市と文化が共存したまちづくりに参画できたことは、私の人生の中でも自慢できる経験でした。

今後の地域コミュニティの更なる発展に期待したい。



▲ウォーキングイベント  
(健康・交流のみち)



▲草花が楽しめる  
沿道整備  
(健康・交流のみち)



▲子育て世代で  
にぎわう保育室  
(荻野公民館)



▲男性をターゲットにした  
料理教室(荻野公民館)



▲園内の水辺の散策路(広町公園)



▲草刈や清掃など地  
域で管理(広町公園)



▲園内せせらぎで點  
つかみどりイベント  
(広町公園)



▲まちづくりのプロセスが小学校教材に